

平成21年産の農作物の生育状況について(地方農政局及び道庁聞き取り情報)

平成21年8月4日現在

品目	全国の生育状況 生育ステージ	
コメ	分けつ期～登熟期 (北海道:減数分裂期 ～開花期)	これまでのところ生育は概ね順調。 しかしながら、現在、北日本を中心に低温に非常に敏感な「冷害危険期(花粉の形成から開花の時期)」に差し掛かっていることから、今後、異常低温(日平均気温が20℃を下回る日が長期間続く場合等)に注意が必要。
麦	北海道:収穫期 都府県:収穫済み	北海道以外(作付面積の約6割)では、6月までに収穫済み。 北海道では、収穫が開始されたところ。長雨によってほ場の状態が悪く(ぬかるみ)、収穫作業が遅れ気味。また、一部で倒伏が発生し、品質低下や穂発芽による減収のおそれ。
大豆	北海道:開花期 都府県:播種期～ 茎葉生長期	北海道では、長雨、日照不足により生育の遅れがみられ、今後の天候いかんによっては減収のおそれあり。 九州地方北部等では、7月の大雨によって冠水したほ場(福岡県で1千ha程度)では、再播種に向けて調整中。
てん菜 (北海道)	茎葉生長期	長雨、日照不足により、生育は数日程度遅れているが、生育は概ね順調。長雨による湿害や病害虫の発生が懸念される所。
ばれいしょ	北海道:肥大期～ 収穫期 都府県:概ね収穫済み	北海道以外の産地では、概ね収穫済み。 北海道(生食用で約5割)では、長雨によってほ場の状態が悪く、防除や収穫作業の遅れが懸念される所。 東京都中央卸売市場の価格は、平年比6～8割高。
野菜		
にんじん	播種期～収穫期	主産地である北海道、青森県で生育が若干遅れ気味。長雨の影響により一部で病害が発生。 東京都中央卸売市場の価格は平年比1～2割高。
たまねぎ	肥大期	主産地である北海道で長雨の影響により生育が2～3日遅れているほか、一部で病害が発生。 東京都中央卸売市場の価格は平年比5割高。
葉菜類(はくさい、レタス、キャベツ)	定植期～収穫期	主産地である長野県、群馬県の高冷地で天候に恵まれ豊作。 東京都中央卸売市場の価格は平年比1～2割安。